

アイホールダンスコレクションvol.48

朝日舞台芸術賞受賞記念  
キリンダンスサポート公演

# BATIK『SHOKU』

日時 2006.8.26(sat)19:00open 19:30start / 27(sun)14:30open 15:00start

※26日公演後、黒田育世アフタートークあり

会場 アイホール (JR伊丹駅前)

出演 植木美奈子  
椎名五百枝  
田中美沙子  
土井唯起子  
西田弥生  
矢嶋久美子  
黒田育世  
舞台監督 寅川英司  
照明プラン 森島都絵  
照明操作 森 規幸  
音響 山田恭子  
衣裳 後藤寿子

主催 バティック  
伊丹市  
(財)伊丹市文化振興財団  
協賛 キリンビール株式会社  
後援 朝日新聞社  
助成 財団法人セゾ文化財団  
(バティックの年間活動を支援)  
財団法人地域創造  
制作 ハイウッド

### ■チケット料金

【全席自由】 一般前売 3,000円 一般当日 3,500円  
学生&ユース前売 2,000円 学生&ユース当日 2,500円

\*ユース=25歳以下。学生&ユース券は、アイホール、JCDNダンスリザーブのみ取扱い。  
当日受付で学生証か年齢のわかる書類をご提示下さい。  
\*日時指定・整理番号付自由席(整理番号は前売券購入・予約順に発行いたします。)  
\*開演1時間前より受付開始します。  
\*未就学児童の入場はご遠慮ください。

### ■チケット発売日 5月27日(土)

### ■チケット取扱い

電子チケットぴあ <http://pia.jp/t/> 0570-02-9966【Pコード:369-243】0570-02-9999(オペレーター予約)  
 <http://dance.jedn.org/> (ダンスオンライン予約サービス)  
アイホール 072-782-2000

### ■会場・お問合せ

アイホール (JR伊丹駅前)  
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1  
TEL 072-782-2000  
FAX 072-782-8880  
<http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/>  
[aihall@juno.ocn.ne.jp](mailto:aihall@juno.ocn.ne.jp)

### ■バティックに関するお問い合わせ

ハイウッド  
TEL 03-3320-7217



# BATIK『SHOKU』

アイホールダンスコレクションvol.48

朝日舞台芸術賞受賞記念  
キリンダンスサポート公演

# BATIK『SHOKU』

構成・演出・振付 / 黒田育世

2006.8.26(sat) 27(sun)  
19:00open 14:30open  
19:30start 15:00start

アイホール (JR伊丹駅前)

## キリンビールは、朝日舞台芸術賞受賞記念・キリンダンスサポート公演 BATIK「SHOKU」をサポートしています。

キリンビールは、「KIRIN LOVES ART (キリンラブズアート)」をキーワードに、  
芸術文化支援活動を行っています。

「キリンダンスサポート」は、朝日舞台芸術賞受賞作品の中から選ばれた、  
すぐれた現代舞踊作品の全国での再演を支援しています。

このほか「キリンアートプロジェクト」「キリンダンスネットワーク」など創造的で個性豊かな  
プログラムや、「キリンニューイヤーコンサート」、全国の工場での展覧会・イベントなどを通じ、  
お客様に気軽に芸術文化に親しんでいただける場を創出していきます。

これからもキリンビールの芸術文化支援活動にどうぞご期待ください。

キリンビール芸術文化支援活動のホームページ <http://www.lovesart.jp>

キリンビール株式会社



協賛: キリンビール株式会社



後援: 朝日新聞社



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に  
役立てられています。

この手の先の7割の不快  
The seven tenths of disgust at my finger tips

2割の快  
The two tenths of pleasantness

取り残されたあと1割  
The one tenths that is left out

皮膚一枚に隔てられた内と外  
Internal and External.

内側を『自分』と感じる事、  
separated just with a sheet of skin

外側を『自分じゃない』と感じる事の不思議  
The unnaturalness of feeling Internal as "me" and External as "not me"

その境界線に  
Bracing to touch that boundary.

触れる覚悟、触れられる衝撃  
the impulse of being touched

誰も触れない秘密  
The secret that no one touches

『触』が導く内と外という、かすかで儂いテザワリを  
An attempt to express, through subversive dance

破壊的に踊る事であぶり出そうと試みる  
The faint and frail feel of Internal and External derived by Shoku(touch)

公演評 SHOKU 2004.8.27 三軒茶屋・シアタートラム

2004.9.7 読売新聞 夕刊

ショッキングな音響空間に耳をつんざく衝撃音とともに真つ赤な照明が突如襲った舞臺のワニビースの女の子たちが、股間を両手で押さえ左右の脚を荒々しく振り上げながら、こちらに向かってくる。いきなりテンションの高まりは凶暴なエネルギーを蓄え、終始異常水位を保っていた。昨年のトヨタコレオグラフィアワードの大賞受賞者・黒田育世の新作である。

同じ動きを群舞で繰り返すうちに、一人だけ外れてゆく少女。スカートで顔を覆い、下着に両手を入れたまま立ちつくす少女など、思春期の脈絡のない生理的不安と自分を取り巻く外界への恐れが、攻撃的な群舞で現れた。前半、少女たちが自殺的な回転と落下を繰り返すシーンがある。被れきた彼女たちの荒々しい息遣いの中、突然一人が壁を背に倒立する。めくれたスカートの下から現れた胸は、忙しく上下する不思議な生き物のようだが、太ももにハイヒールを挟まれ、取り残された顔のない生物は、犠牲者のように晒される。

激しい執拗な行為の繰り返しは現実の時間、作品の段取りでも、何かを表現するための時間でもない。身体が実際に変化するために必要な時間なのだ。踊すという露わな残酷さは、身体の内側の厚みに向けられ、叩きのめすほどに純化される。黒田の振り付けはカタルシスだ。息切れし汗にまみれることにより、身体が変貌する瞬間を待つことは体験に等しいことだ。

身体の内側に向けた振り付けは、当然生理的でクロテスク、露骨な様相を示す。それは未知の新しさではなく、他ならぬ自身の身体に出会うことなのだ。また安定した形に納まらず、むしろ破壊的であろうとするところに黒田の可能性がある。

舞踊評論家 國吉和子

横浜公演@横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール  
2006.8.6 (sun) 14:30 open 15:00 start  
お問い合わせ=横浜赤レンガ倉庫1号館(財団法人横浜芸術文化振興財団)  
〒231-0001 横浜市中区新港1-1-1  
TEL 045-211-1515 FAX 045-211-1519  
http://www.yokohama-akarenga.jp/ akarenga@yaf.or.jp

伊丹公演@アイホール【アイホールダンスコレクションvol.18】  
2006.8.26 (sat) 19:00 open 19:30 start  
27 (sun) 14:30 open 15:00 start  
お問い合わせ=アイホール  
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1  
TEL 072-782-2000 FAX 072-782-8880  
http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/ aihall@juno.ocn.ne.jp

新潟公演@りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館・劇場  
2006.8.30 (wed) 19:00 open 19:30 start  
お問い合わせ=りゅーとびあ  
〒951-8132 新潟県新潟市一番堀通町3-2  
TEL 025-224-5521 (11:00-19:00 休館日は除く)  
http://www.ryutopia.or.jp/

高知公演@高知県立美術館ホール  
2006.9.30 (sat) 18:00 open 18:30 start  
お問い合わせ=高知県立美術館  
〒781-8123 高知市高須353-2  
TEL 088-866-8000 FAX 088-866-8008  
http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~museum/

『SHOKU』上演歴

- 2002.12.21 森下スタジオ
- 2003.2.08 横浜ランドマークホール
- 2004.8.27-29 シアタートラム
- 2005.1.07-08 ジャパンソサエティ(ニューヨーク,アメリカ)
- 2005.1.11-12 Maison de la Culture Frontenac (モントリオール,カナダ)
- 2005.5.17-18 マールイ劇場(モスクワ,ロシア)
- 2005.5.21 ペルミチャイコフスキーオペラ&バレエ劇場(ペルミ,ロシア)
- 2005.5.25-26 クアラルンプールパフォーミングアートセンター(クアラルンプール,マレーシア)
- 2005.8.11-12 エスプラード・シアタースタジオ
- 2005.10.1-2 Mousonturm Frankfurt (フランクフルト,ドイツ)
- 2005.10.6-8 パリ日本文化会館(パリ,フランス)
- 2005.10.12-13 トゥルク・コンセルヴァトワール内 Sigyn Hall(トゥルク,フィンランド)
- 2005.11.15-20 パワーハウス(プリズベン,オーストラリア)



PHOTO AKIRA MICHIMOTO

黒田育世



BATIK主宰・振付家・ダンサー  
6歳よりクラシックバレエをはじめ。『谷桃子バレエ団』に所属しながら1997年渡英、ラバンセンターにてコンテンポラリーダンスを学ぶ。2000年より『伊藤キム+輝く未来』で活動。2002年、『BATIK』を設立。同年、ドゥ・セーヌ・サン・ドニ(旧パニョレ)国際振付賞ヨコハマプラットフォームにて『ナショナル協議員賞』を受賞。2003年『TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD』にて『次代を担う振付家賞』を受賞。2004年『花は流れて時は固まる』『SHOKU』を発表。同年イギリスダンスアンブレラフェスティバルに招聘される。最近はソロ作品発表、金森謙幸いるNoism05への振付提供など活動の幅が広がっている。2005年朝日舞台芸術賞、キリンダンスサポートをダブル受賞。

BATIK <http://batik.jp/>

黒田育世振付による作品創造を中心とし、02年4月設立。02年2月の『ランコントル・コレグラフィック・アンテルナショナル・ドゥ・セーヌ・サン・ドニ(旧パニョレ国際振付賞)ヨコハマプラットフォーム』での『ナショナル協議員賞』受賞をきっかけにカンパニーとしての活動を本格化した。これまでにイギリス・ダンスアンブレラフェスティバルでの公演をはじめ、海外公演も多数行っている。主な作品:『SIDE B』『SHOKU』『花は流れて時は固まる』